

うな思いを抱いたまま、資料館を後にしました。この世を生き抜いたのでしよう。私は、そのよが痛みました。遺族はどのような思いで戦争の原爆でなくなってしまうのかと思うと、心元気な声が飛びかっていた町が、たった一つ、て、ショックを受けました。あれほど栄え、が展示されています。私は、この資料館を見遺品や、原爆ができて投下されるまでの歴史記念資料館です。そこには、亡くなった人のす。私が特に心に残っているのは、広島平和広島には、その原子爆弾の根跡が残っています。瞬にして、たくさんの尊い命が失われました。原子爆弾の最初の実験台となった広島は、一時は、昭和二十年八月六日、八時十五分。標を達成でき、充実した二日間になりました。標は、平和の大切さを確認すること。この目に参加し、広島を訪れました。今回の私の目に私は長久手市中学生広島平和体験学習事業に、長久手中学校一年、大西、柑奈

た。その次の日に、原爆ドームと原爆の子の像を見に行きました。原爆ドームは、周りにがれきが散乱して、それを見るだけで、当時の光景が分かるような気がしました。そして次に原爆の子の像に行き、鐘を鳴らしました。その時、私はこれからもうずっと平和であるようにと心から願いました。この広島での体験は私に多くのことを教えてくれました。そして、私達はもう二度とこのような戦争を起こさないようにしなければなりません。そのためには、一人でも多くの人が平和を願うことが、平和な世の中にする第一歩だと思います。さらに、その気持ちを後世にいつまでも受けついでいくことが大切です。現在でも、たくさんの方々が核兵器を持っています、その実験もしています。私は、いつか核兵器が全て無くなり、悲しい戦争を起ささないようにするために、この貴重な体験を語りついでいきます。そして、いつでも広島を思い出して、生きていきたいです。